

## 一 熟語の構成を知ろう！

教科書 p.39,40 &gt; ヤーク p.16)

二字以上の漢字を組み合わせてできた語を、**熟語**という。次は、二字熟語の主な構成の一覧である。教科書39ページを参照し、( ) にそれぞれの漢字の意味がわかるような訓や熟語、二つの漢字を使った文を書き入れ、表を完成させよう。また、 に自分で調べた熟語を記入しよう。

	構成の仕方	熟語の例
①	意味が似ている漢字の組み合わせ。	思考…思(思う) + 考(考える) 規則…規( ) + 則( ) 縮小…縮( ) + 小( ) 山岳…山( ) + 岳( ) 搭乘…搭( ) + 乗( )
②	意味が対になる漢字の組み合わせ。	前後…前(前方) + 後(後方) 売買…売( ) + 買( ) 強弱…強( ) + 弱( ) 禍福…禍( ) + 福( ) 慶弔…慶( ) + 弔( )
③	主語と述語の関係。	国营…( ) 国が営む 雷鳴…( ) 日照…( ) 人造…( )
④	下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す。	開会…( ) 会を開く 造園…( ) 乗車…( ) 帰郷…( ) 就職…( )
⑤	上の漢字が下の漢字を修飾する。	水路…( ) 水の路(みち) 熱心…( ) 大声…( ) 曲線…( ) 逆流…( )
⑥	同じ漢字を重ねたもの。	◎その状態や様子を強調して表す。 ・刻刻(刻々)…どんどん時間がたっていく様子。 ・喜喜(喜々)…うれしそうな様子。

1 次は、三字熟語の主な構成の一覧である。40ページを参照し、構成に合うよう（ ）に熟語を分割して書き入れ、表を完成させよう。また、に自分で調べた熟語を記入しよう。

構成の仕方		熟語の例	
① 漢字一字の言葉の組み合わせ。			
一字＋ 二字		初対面…（初）＋（対面） 再出発…（ ）＋（ ）	大失敗…（ ）＋（ ）
二字＋ 一字		肖像画…（肖像）＋（画） 経済学…（ ）＋（ ）	職員室…（ ）＋（ ）
打ち消し ＋ 十二字		無意味…（無）＋（意味） 不可能…（ ）＋（ ）	未発表…（ ）＋（ ）
二字＋ 意味を添 える漢字		可能性…（可能）＋（性） 積極的…（ ）＋（ ）	本格化…（ ）＋（ ）
② 漢字一字の言葉と 二字熟語 の組み合わせ。			

2 次は、四字以上の熟語の主な構成の一覧である。40ページを参照し、構成に合うよう（ ）に熟語を分割して書き入れ、表を完成させよう。また、に自分で調べた熟語を記入しよう。

構成の仕方		熟語の例	
① 漢字一字の言葉の組み合わせ。			
花鳥風月…（ ）＋（ ）＋（ ）＋（ ）			
② 二字熟語の組み合わせ。			
国際交流…（ ）＋（ ）			
③ 漢字一字の言葉と 二字熟語の組み合わせ。			
運転免許証…（ ）＋（ ）＋（ ）			
④ 古くから言いなら わされてきたもの。			
一進一退 大同小異 美辞麗句		意味 意味 意味	

※ワークp.16の問題にも取り組んでみよう！

## 一 熟語の構成を知ろう！

教科書 p.39,40) ヤーク p.16)

二字以上の漢字を組み合わせてできた語を、**熟語**という。次は、二字熟語の主な構成の一覧である。教科書39ページを参照し、( ) にそれぞれの漢字の意味がわかるような訓や熟語、二つの漢字を使った文を書き入れ、表を完成させよう。また、 に自分で調べた熟語を記入しよう。

	構成の仕方	熟語の例
①	意味が似ている漢字の組み合わせ。	思考…思(思う)＋考(考える) 規則…規(規律)＋則(原則) 縮小…縮(縮む)＋小(小さい) 山岳…山(山)＋岳(岳) 搭乗…搭(搭載)＋乗(乗車)
②	意味が対になる漢字の組み合わせ。	前後…前(前方)＋後(後方) 売買…売(売る)＋買(買う) 強弱…強(強い)＋弱(弱い) 禍福…禍(禍根)＋福(幸福) 慶弔…慶(慶事)＋弔(弔辞)
③	主語と述語の関係。	国营…( ) 国が営む 雷鳴…( ) 雷が鳴る 日照…( ) 日が照る 人造…( ) 人が造る
④	下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す。	開会…( ) 会を開く 造園…( ) 園を造る 乗車…( ) 車に乗る 帰郷…( ) 故郷に帰る 就職…( ) 職に就く
⑤	上の漢字が下の漢字を修飾する。	水路…( ) 水的路(みち) 熱心…( ) 熱い心 大声…( ) 大きな声 曲線…( ) 曲がった線 逆流…( ) 逆らう流れ
⑥	同じ漢字を重ねたもの。	◎その状態や様子を強調して表す。 ・刻刻(刻々)…どんどん時間がたっていく様子。 ・喜喜(喜々)…うれしそうな様子。

1 次は、三字熟語の主な構成の一覧である。40ページを参照し、構成に合うよう（ ）に熟語を分割して書き入れ、表を完成させよう。また、に自分で調べた熟語を記入しよう。

構成の仕方		熟語の例	
①	漢字一字の言葉の組み合わせ。	上中下…(上)+(中)+(下)	松竹梅…(松)+(竹)+(梅)
②	漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ。	一字+	初対面…(初)+(対面)
		再出發…(再)+(出發)	大失敗…(大)+(失敗)
②	漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ。	二字+	肖像画…(肖像)+(画)
		経済学…(経済)+(学)	職員室…(職員)+(室)
②	漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ。	打ち消し	無意味…(無)+(意味)
		不可能…(不)+(可能)	未発表…(未)+(発表)
②	漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ。	二字+	可能性…(可能)+(性)
		積極的…(積極)+(的)	本格化…(本格)+(化)
②	漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ。	意味を添える漢字	積極的…(積極)+(的)

2 次は、四字以上の熟語の主な構成の一覧である。40ページを参照し、構成に合うよう（ ）に熟語を分割して書き入れ、表を完成させよう。また、に自分で調べた熟語を記入しよう。

構成の仕方		熟語の例	
①	漢字一字の言葉の組み合わせ。	花鳥風月…(花)+(鳥)+(風)+(月)	
②	二字熟語の組み合わせ。	国際交流…(国際)+(交流)	
③	漢字一字の言葉と二字熟語の組み合わせ。	運転免許証…(運転)+(免許)+(証)	
④	古くから言いならわされてきたもの。	一進一退 大同小異 美辞麗句	(進んだり後戻りしたりすること。) (だいたい同じで細かい点だけ異なること。) (美しく立派に見える文句。)

※ワークp.16の問題にも取り組んでみよう！

## 二 同じ訓・同じ音をもつ漢字を知ろう！

教科書 p.128,129〉ワーク p.76,77〉

## ○同じ訓をもつ漢字の使い分け

問 次の太字を漢字に直しなさい。

- 席をあける。( ) 　　かさをかす。( )  
 ① 夜があける。( ) 　　② 北をかす。( )  
 戸をあける。( ) 　　虫にさされる。( )  
 ③ 店をしめる。( ) 　　④ 東京都にすむ。( )  
 はちまきをしめる。( ) 　　仕事がすむ。( )

このように同じ読みだが、表す意味が異なる漢字がある。それぞれの漢字が表す意味を  
 考え、文脈に合わせて使い分けよう！

## ○同じ読みをする漢字の使い分け

問 次の太字を漢字に直しなさい。

- ① カテイ生活を大切にする。( ) 　　② 毎日6時にキシヨウする。( )  
 カテイの過程を記録する。( ) 　　この猫はキシヨウが激しい。( )  
 犯人だとカテイする。( ) 　　金沢のキシヨウを調べる。( )  
 ③ 鳥のシユウセイを調べる。( ) 　　③ 遠足のヨウイをした。( )  
 文章をシユウセイした。( ) 　　ヨウイには勝てない。( )  
 ⑤ クラスのソウイで、A君が生徒会長になった。( ) 　　( )  
 考え方のソウイで、A君とB君は対立している。( ) 　　( )

このように同じ読みで意味の異なる熟語を同音異義語という。その漢字を使ったほかの  
 熟語や、訓を思い浮かべて、その漢字の意味を考え、使い分けよう！

※教科書p.129の練習問題やワークp.76,77の問題にも取り組んでみよう！

## 二 同じ訓・同じ音をもつ漢字を知ろう！

教科書 p.128,129〈ワーク p.76,77〉

## ○同じ訓をもつ漢字の使い分け

問 次の太字を漢字に直しなさい。

- 席をあける。( **空ける** ) ( )      かさをさす。( **差す** ) ( )  
 ① 夜があける。( **明ける** ) ( )      ② 北をさす。( **指す** ) ( )  
 戸をあける。( **開ける** ) ( )      虫にさされる。( **刺される** ) ( )  
 ③ 店をしめる。( ) ( **閉める** ) ( )      ④ 東京都にすむ。( ) ( **住む** ) ( )  
 はちまきをしめる。( ) ( **締める** ) ( )      仕事がすむ。( ) ( **済む** ) ( )

このように同じ読みだが、表す意味が異なる漢字がある。それぞれの漢字が表す意味を考え、文脈に合わせて使い分けよう！

## ○同じ読みをする漢字の使い分け

問 次の太字を漢字に直しなさい。

- ① カテイ生活を大切にする。( **家庭** ) ( )      ② 毎日6時にキシヨウする。( ) ( **起床** ) ( )  
 カテイの過程を記録する。( ) ( **過程** ) ( )      この猫はキシヨウが激しい。( ) ( **気性** ) ( )  
 犯人だとカテイする。( ) ( **仮定** ) ( )      金沢のキシヨウを調べる。( ) ( **気象** ) ( )  
 ③ 鳥のシユウセイを調べる。( ) ( **習性** ) ( )      ③ 遠足のヨウイをした。( ) ( **用意** ) ( )  
 文章をシユウセイした。( ) ( **修正** ) ( )      ヨウイには勝てない。( ) ( **容易** ) ( )  
 ⑤ クラスのソウイで、A君が生徒会長になった。( ) ( **総意** ) ( )      ( ) ( **相違** ) ( )  
 考え方のソウイで、A君とB君は対立している。( ) ( **相違** ) ( )

このように同じ読みで意味の異なる熟語を**同音異義語**という。その漢字を使ったほかの熟語や、訓を思い浮かべて、その漢字の意味を考え、使い分けよう！

※教科書p.129の練習問題やワークp.76,77の問題にも取り組んでみよう！

三 送り仮名の付け方を覚えよう！

教科書 p.226,227) ヶーク p.139)

1 動詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

①原則を確かめ、「     」には、次の言葉に続くように送り仮名を書こう。

原則▼( )を送る。

・とぶ……飛「     」ない・飛「     」ます　・飛「     」。(終止形)・

飛「     」ば　・飛「     」。(命令形)・飛「     」う

・つたえる…伝「     」ない・伝「     」ます　・伝「     」。(終止形)・

伝「     」ば　・伝「     」。(命令形)・伝「     」う

②—線の送り仮名が正しいものには○を、誤っているものには正しい送り仮名を書こう。

ア 気を失なう。( ) イ 判断を誤る。( )

ウ 期限を延す。( ) エ ラジオが壊れる。( )

2 形容詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

①原則と例外を確かめ、「     」には、次の言葉に続くように送り仮名を書こう。

原則▼( )を送る。

・ふかい…深「     」う　・深「     」た・深「     」なる・

深「     」。(終止形)・深「     」ば

例外▼語幹が「し」で終わる形容詞は、「し」から送る。

・はげしい…激「     」。(終止形)　くやしい…悔「     」た

②—線の送り仮名が正しいものには○を、誤っているものには正しい送り仮名を書こう。

ア 清い心の持ち主。( ) イ まだ眠くない。( )

ウ 厳びしい表情。( ) エ 珍しい宝物。( )

3 形容動詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

①原則と例外を確かめ、「     」には、送り仮名を書き入れよう。

原則▼( )を送る。

・元気だ…元気だろう・元気に・元気だ・元気な・元気なら

例外▼活用語尾の前に「か」「やか」「らか」を含む形容動詞は、その部分から送る。

・しずかだ…静「     」。(終止形)　おだやかだ…穏「     」。

やわらかだ…柔「     」。

②—線の送り仮名が正しいものには○を、誤っているものには正しい送り仮名を書こう。

ア この料理は妙な味だ。( ) イ 温たかなお茶。( )

ウ 鮮ざやかな色。( ) エ 答えは明らかだ。( )

※送り仮名の付け方には、次のような付け方をするものもある。

▼含まれている語の送り仮名の付け方にそろえる。

・生む…生まれる ↓「生む」の送り仮名の付け方にそろえる。



三 送り仮名の付け方を覚えよう！

教科書 p.226,227) ヶーク p.139)

1 動詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

①原則を確かめ、「        」には、次の言葉に続くように送り仮名を書こう。

原則▼(活用語尾)を送る。

- ・とぶ……飛「ば」 「ない・飛」 び 「ます
- ・飛「べ」 「ば・飛」 べ 」。 (命令形)・飛「ぼ」 「う
- ・つたえる…伝「え」 「ない・伝」 え 「ます
- ・伝「えれ」 「ば・伝」 えろ 」。 (命令形)・伝「えよ」 「う

②—線の送り仮名が正しいものには○を、誤っているものには正しい送り仮名を書こう。

- ア 気を失なう。 ( 失う ) イ 判断を誤る。 ( ○ )
- ウ 期限を延す。 ( 延ばす ) エ ラジオが壊れる。 ( ○ )

2 形容詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

①原則と例外を確かめ、「        」には、次の言葉に続くように送り仮名を書こう。

原則▼(活用語尾)を送る。

- ・ふかい…深「かる」 「う
  - ・深「かつ」 「た・深」 く 「なる
  - ・深「い」 」。 (終止形)・深「けれ」 「ば
- 例外▼語幹が「し」で終わる形容詞は、「し」から送る。
- ・はげしい…激「しい」 」。 (終止形) く やしい…悔「しかつ」 「た

②—線の送り仮名が正しいものには○を、誤っているものには正しい送り仮名を書こう。

- ア 清よい心の持ち主。 ( 清い ) イ まだ眠くない。 ( ○ )
- ウ 厳びしい表情。 ( 厳しい ) エ 珍しい宝物。 ( ○ )

3 形容動詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

①原則と例外を確かめ、「        」には、送り仮名を書き入れよう。

原則▼(活用語尾)を送る。

- ・元気だ…元気だろう・元気に・元気だ・元気な・元気なら
- 例外▼活用語尾の前に「か」「やか」「らか」を含む形容動詞は、その部分から送る。
- ・しずかだ…静「かだ」 」。 おだやかだ…穏「やかだ」 」。 やわらかだ…柔「らかだ」 」。

②—線の送り仮名が正しいものには○を、誤っているものには正しい送り仮名を書こう。

- ア この料理は妙な味だ。 ( ○ ) イ 温たかなお茶。 ( 温かな )
- ウ 鮮ざやかな色。 ( 鮮やかな ) エ 答えは明らかだ。 ( ○ )

※送り仮名の付け方には、次のような付け方をするものもある。

▼含まれている語の送り仮名の付け方にそろえる。

- ・生む…生まれる ↓「生む」の送り仮名の付け方にそろえる。

# 1 名詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

原則▼送り仮名を付けない。

- ・名詞で送り仮名を付けない漢字を探し、読みとともに書こう。
- 例外▼最後の音節を送るものもある。

・次の語を漢字と送り仮名を使って書こう。

- ① なさけ ( 情け )      ② しあわせ ( 幸せ )      ③ いきおい ( 勢い )

※活用のある語が変化して名詞になった語、活用のある語に「さ」「み」「げ」などが付いて名詞になったものは、元の語の送り仮名の付け方にそろえる。

・次の語を漢字と送り仮名を使って書こう。

- ④ うごき ( 動き )      ⑤ おさなさ ( 幼さ )      ⑥ おもみ ( 重み )

# 2 副詞・連体詞・接続詞の送り仮名の付け方を覚えよう。

原則▼最後の音節を送る。

・次の語——線部を漢字と送り仮名を使って書こう。

- ① 町でもつとも大きな書店。 ( 最も )  
② すこし待ってください。 ( 少し )  
③ ふたたび会いましょう。 ( 再び )  
④ 彼はかならず来る。 ( 必ず )

問 次の各文には送り仮名の付け方が誤っている部分が一箇所ずつある。その部分に——線を引き、適切に書き改めよう。

- ① 目覚まし時計が突然鳴ったので驚ろいた。 ( 驚いた )  
② 異議が多く出され、会議が夜遅そくまで長引いた。 ( 遅く )  
③ 箱の側面には細まかい模様が刻まれている。 ( 細かい )  
④ 山野を歩くと春の草花の香おりがした。 ( 香り )  
⑤ 彼のする仕事には全たく誤りがない。 ( 全く )  
⑥ 氷が解けて、ジュースの濃度が薄すまる。 ( 薄まる )  
⑦ 窓の外から涼ずしい風が吹いてくる。 ( 涼しい )  
⑧ 気分を新らたにして次の試合に臨む。 ( 新たに )  
⑨ 親しい友人に悩やみを打ち明ける。 ( 悩み )  
⑩ 私の隣りの座席が空いています。 ( 隣 )

※教科書p.227の練習問題やワークp.139の問題にも取り組んでみよう！